

議 長	局 長	次 長	係 長	係 長	課 員	担 当

第 25 回議会改革推進会議 会議記録簿

開 催 日	平成 27 年 7 月 15 日 (水)	場 所	特別会議室
開催時間	午後 3 時 35 分～午後 4 時 45 分	休憩時間	時 分～ 時 分
			時 分～ 時 分
出席委員	全 員 ・ 欠席 名 (委員、 委員、 委員)		
その他 出席者		事務局 出席者	澤口道夫事務局長、嗟峨一郎次長、 皆川賢司係長、長内紳悟主任

(適用・要旨)

進行：座長 八重櫻友夫議長

○案件

(1) 議会活動の自己検証・評価について（前年度分）

- ・ 前回会議での検証作業を踏まえて取りまとめた事務局調製案について、案のとおり決定する。
なお、自己検証結果（検証シート）をホームページで公表することとする。

- ・ 6月定例会議において傍聴者から発言内容が聞き取りにくいとの声が多くあった。発言者の滑舌、マイクの問題等いろいろ考えられるが、改選後の課題提起とする。なお、各議員はマイクを向けて話すことを心がけていただくよう徹底する。

- ・ 議場スクリーンを使用しての一般質問が効果的であったが、投影した映像の見にくさ、スクリーンの位置や角度の問題等もあることから、今後の課題とする。なお、今回の試行運用を踏まえて本格運用に向けたスクリーンの使用基準の整備を進めることとする。
また、各々の議席でのスクリーンとパソコン・タブレットとの配線や電源確保等作業が煩雑となることから、解決策の一つとなり得る対面質問席の設置を改選後への課題提起とする。

- ・ 本会議のインターネット配信を行っていることから、支所公民館での放映日宣伝や視聴対応など、議場での傍聴者以外の市民に対しても議会に関心をもってもらえるような取り組みを進めることを改選後への課題提起とする。

- ・ 通年会期制によって年間を通して請願・陳情が提出しやすくなったことを市民に積極的に情報提供していく必要があり、その取り組みを進めることを改選後の課題提起とする。

・議会が変わってきたという市民実感をもってもらうため、定期的な委員会活動の充実を図って議会報で周知していくなど積極的な広報に取り組む必要がある。また、そうした活動を年4回発行の広報のボリュームを減らし、もっと定期的な広報発行にしていくなど検討が必要である。これらについて改選後の課題提起とする。

(2) 議会基本条例運用基準について

・広聴広報特別委員会において策定が進められた「議会報告会実施要綱」について了承することとし、改正案のとおり運用基準の改正を行うこととする。